

令和2年 第1回 西区区づくり推進横浜市議員会議

令和2年2月5日(水) 16時開始
西区役所4階4A会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和2年度 西区編成予算(案)について
- (2) 令和2年度 西区編成予算(案) 主要事業説明について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進
 - イ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - エ 健康づくり応援事業
 - オ 家計のやりくり応援事業
 - カ 子育て支援の推進
 - キ 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業
 - ク 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - ケ スポーツ振興等事業
 - コ 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
 - サ 西区環境行動推進事業
 - シ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
 - ス 交通安全事業
 - セ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
 - ソ 地域防災活動推進事業
- (3) その他
 - ア 西区における開発動向等について
 - イ 新市民病院の開院について

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和2年度 西区編成予算（案）について

【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ ～

西区は、「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ」を基本目標に、地域の皆様と区役所が連携・協力し、さまざまな地域課題の解決を図りながら、より良いまちづくりを進めていきます。

令和2年度は、第3期「にこまちプラン」の最終年にあたり、現計画の総まとめと次期計画の策定を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築を西区行動指針に基づき進めます。

一方、まちのにぎわいづくりについては、東京2020オリンピック・パラリンピックや横浜トリエンナーレ2020を契機とした取組を進めるとともに、西区の歴史や地域資源を活かした伝統的な催事を地域・企業の皆さまと協働で実施します。

また、安全・安心なまちづくりについては、横浜駅やみなとみらい21地区等の大規模施設を抱える西区の特性と全市的な施策との連携を意識しながら事業に取り組みます。

これらを踏まえ、基本目標の達成に向けて、5つの柱を掲げ、西区の特性を生かした様々な事業に取り組みます。

- 地域のつながりづくり
- 安全・安心なまちづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり

1 区別総括表

(単位:千円)

	2年度予算額	元年度予算額	差引
自主企画事業費	98,927	99,781	▲ 854
統合事務事業費	36,183	36,174	9
統合事務費	20,508	20,508	0
統合事業費	15,675	15,666	9
区庁舎・区民利用施設管理費	449,779	444,666	5,113
合計	584,889	580,621	4,268

<参考>

区局連携促進事業

(単位:千円)

	2年度予算額	元年度予算額	差引
地下鉄高島町駅周辺 歩行者環境改善方策検討事業 (都市整備局)【新規】	4,000	/	4,000

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	2年度予算額	主な事業
地域のつながりづくり	10,557	・「にこやかしあわせくらしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進 ・西区ふれあい福祉推進事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	22,039	・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	29,213	・地域資源を活用したまちの回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
安全・安心なまちづくり	27,612	・地域防災活動推進事業 ・西区環境行動推進事業 ・安心して暮らせるまちづくり推進事業
親しみやすい区役所づくり	9,506	・サービス改善推進事業 ・広報充実事業
合 計	98,927	〈35事業〉

(2) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	2年度予算額	主な施設等
区庁舎	50,954	西区役所
行政サービスコーナー	7,157	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,719	にしく市民活動支援センター
土木事務所	8,109	西土木事務所
公会堂	35,753	西公会堂
地区センター等	90,132	西地区センター、藤棚地区センター等
ログハウス	8,386	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	54,156	野毛山荘
コミュニティハウス	74,497	戸部コミュニティハウス等
区スポーツセンター	92,191	西スポーツセンター
広場・遊び場	238	西平沼こどもの遊び場等
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,487	
合 計	449,779	

令和2年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲を拡大した事業や細目事業に新規事業があるもの

1 地域のつながりづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R2年度 事業費	R1年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	4,368	3,390	978
2		西区ふれあい福祉推進事業	3,289	3,888	▲599
3		地域活動事業	2,900	2,869	31
小 計			10,557	10,147	410

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R2年度 事業費	R1年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	高齢者あんしん生活サポート事業	3,058	2,729	329
2	拡充	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	3,788	4,519	▲731
3	拡充	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,568	1,461	107
4		区役所キッズスペース運営事業	4,673	5,098	▲425
5		地域子育てサロン運営支援事業	336	541	▲205
6	拡充	西区で子育て学び隊事業	2,979	2,294	685
7		西区の保育施設つながり事業	639	761	▲122
8		女性と子どものための相談支援強化事業	680	655	25
9	拡充	家計のやりくり応援事業	639	605	34
10	拡充	健康づくり応援事業	1,777	1,792	▲15
11	拡充	読書活動推進事業	1,902	1,727	175
小 計			22,039	22,182	▲143

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R2年度 事業費	R1年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	4,400	4,400	0
2	拡充	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	4,967	5,279	▲312
3		西区民まつり	5,700	5,920	▲220
4		ふるさと西区魅力発信事業	4,110	4,512	▲402
5		地域文化振興事業	1,166	1,166	0
6	拡充	スポーツ振興等事業	4,475	4,475	0
7		広報充実事業	2,342	2,835	▲493
8	新規	西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,053	0	2,053
小 計			29,213	28,587	626

4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R2年度 事業費	R1年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	地域防災活動推進事業	12,773	12,773	0
2		放置自転車対策事業	4,103	5,090	▲987
3	拡充	西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,319	2,032	287
4		交通安全事業	2,424	2,290	134
5	拡充	安心して暮らせるまちづくり推進事業	2,011	2,008	3
6	拡充	西区環境行動推進事業	2,908	4,321	▲1,413
7		食中毒・感染症予防対策事業	1,074	1,271	▲197
小 計			27,612	29,785	▲2,173

5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R2年度 事業費	R1年度 事業費	事業費 増▲減
1		区総合庁舎等環境整備事業	6,111	6,375	▲264
2	拡充	サービス改善推進事業	812	564	248
3		人権啓発推進事業	316	316	0
4		統計便覧作成事業	600	600	0
5		区民生活マップ作成事業	1,257	815	442
6		区政推進運営事業	410	410	0
小 計			9,506	9,080	426
合 計			98,927	99,781	▲854

3-(2) 令和2年度 西区編成予算(案) 主要事業説明について

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進 (福祉保健課)(区政推進課) 【予算額 4,368千円(対前年度比 978千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和2年度は、「第3期(平成28～令和2年度)にこまちプラン」の5年目を迎え、今期計画の総まとめとして、引き続き地域主体の取組をサポートし推進していきます。また、令和元年度に実施した現行計画の振り返りを踏まえ、向こう5年間の目指す姿を見据えた第4期計画(令和3～7年度)の策定を、地域や関連機関等と一体となって行います。

また、「西区地域のつながりを育み強める補助金」等の活用や、西区地域づくり大学校とも連携しながら、地域の取組をより効果的に支援します。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(4,368千円)

① 第3期計画の推進

地域活動の参考となる内容の講座を様々な世代を対象に実施します。また、区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に区で実施する事業の情報提供及び地域とのつながりを深めていく機運を高めるための取組を継続実施します。

活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地域による取組の発表を中心にした、「にこまちフォーラム」を開催します。



にこまちフォーラム

② 広報・啓発

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、地域とのつながりや「わたしにできること」について、子どもたちが考える機会を創出します。



こども向け啓発

③ 第4期計画の策定【拡充】

福祉保健の分野に精通したアドバイザーの助言を踏まえるとともに、「推進・評価委員会」の委員の中から構成される「策定検討会」を設置し、詳細な議論を重ね策定を進めます。

新たな計画の冊子や概要版、地区別計画のリーフレットを印刷し広く配布します。



推進評価委員会

【第4期計画策定に向けたスケジュール】

年月		実施事項	実施内容
2年	3月	策定検討会	計画の理念や考え方、骨子などの確認
	7月	策定検討会	素案（大枠）の検討
	8月	策定検討会	素案の検討
	9月	推進・評価委員会	素案の確定
	10月	区民意見募集	素案に対する意見公募
	11月	策定検討会	素案への区民意見に対する対応検討 計画案の作成
	12月	推進・評価委員会	計画の確定
3年	2、3月	発行準備、啓発	計画冊子の作製 にこまちフォーラムの実施
	4月		計画スタート

(2) 地域人材の育成・発掘と地域団体の連携推進（市民局 区配事業）

① 地域のつながりを育む活動への支援

地域活動の充実を目指して自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して行う、地域の課題解決への取組などに対して、「西区地域のつながりを育み強める補助金」を交付します。

■参考：令和元年度 実績
交付件数：3件（内訳：新規1件、継続2件）

② 『西区地域づくり大学校』の開催

コミュニティハウスや地域ケアプラザなど、身近な市民利用施設とも連携しながら、協働事業者とともに、地域活動の担い手となる人材の発掘と育成を目指します。

さらに、これまでの西区地域づくり大学校修了生に対し、情報交換の場の提供、場所や資金に関する相談の機会を設けるなどして、協働事業者と協力しながら、西区地域づくり大学校修了生の取組が地域に根付くよう支援していきます。

■参考（令和元年度 実績）
実施時期：10月24日～2月6日（全6回）
テーマ：『わたしがつくる“くらしのプラスワン”』
受講者数：15名
協働事業者：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま



西区地域づくり大学校
活動風景



第8期 西区地域づくり大学校
受講生募集パンフレット

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,058千円(対前年度比 329千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区行動指針」(令和2年度改訂予定)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業 (927千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展や講演会を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 地域ケア会議へのアドバイザー派遣

地域包括ケアシステムの構築に向けて、区レベル・地域包括支援センターレベル地域ケア会議にアドバイザーを派遣し、地域課題の抽出から課題解決につながるよう会議の充実を図ります。

③ 「地域で見守りガイドブック」の普及啓発【新規】

地域ケア会議(見守り部会)で作成をした「地域で見守りガイドブック」を配布します。(5,000部)

また、見守りの標準化を図るため、見守りに資する団体に向けた研修会を行います。研修について映像資料化し、関係機関・団体が活用できるようにします。

更に、新たに企業向けにも作成をしていきます。(1,000部)

(2) 認知症等高齢者支援事業 (943千円)

① 認知症予防講演会の開催【新規】

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、認知症予防を含めた認知症への備えとなる運動不足の改善・生活習慣病の予防・社会参加の必要性などにかかる取組を紹介する講演会(6月)を開催します。

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症にやさしいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じて、認知症サポーター養成講座を実施します。また、平沼高校と連携し中学生等を対象とした講演会(12月)を開催し、認知症の正しい知識と理解を周知します。

③ 企業連携による「もしもカード」の周知

徘徊や外出先での緊急時に備えたカード「もしもカード」について、高齢者等に配布するだけでなく、高齢者を支援する立場にある方へ周知するため、事業の趣旨に賛同する企業と連携しながら、さらに普及に取り組めます。



もしもカード

④ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト（登録者数140名）等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

(3) 健康づくり・介護予防事業（1,188千円）

① 「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」を活用した活動充実【拡充】

ころばんよ体操の効果（ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防）にオーラルフレイル予防を加えた「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」解説書・ポスターを活用し、さらに普及啓発を進めるとともに、地域における介護予防に関する自主的活動の活性化に努めます。

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施（健康福祉局 区配事業）

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」（登録者数30名）の人材育成研修を実施するとともに、介護予防活動グループ交流会を開催し活動の充実を図ります。（12月）



げんき活動応援団

③ 介護予防に関するリーフレットの充実【拡充】

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットの掲載内容を充実し、高齢者の社会参加や健康づくりの取組への参加につなげます。



「お元気活動応援マップ」
「健康づくり活動・グループ紹介」

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,788千円(対前年度比 731千円減)】

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業 (3,421千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発活動 (9月、4か所)

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に周知します。

② 区民まつりでの啓発活動 (11月)

障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。

③ 西区ふれあい作品展 (12月、2か所)

障害者週間に合わせて、西区域の個別支援学級に通う中学生や障害のある人たちの文化・芸術作品を展示します。

④ 障害者地域活動支援センターにおける障害理解促進・啓発活動 (10月、2月)

障害の当事者と少人数の対話を通して相互理解を促す西区版ヒューマンライブラリーを実施します。

⑤ 障害福祉関係情報冊子(こんぱす)の増刷(500部)



区民まつりの様子



ヒューマンライブラリーの様子

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策 (62千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進める取組を実施します。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への周知と計画の作成勧奨をします。

② ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施

災害時にガス式発電機をすぐに使えるように、福祉避難所と連携した稼働訓練を実施します。

③ 緊急時安心パック【新規】

災害時や介護者の急病など、障害のある方が緊急時に生活を継続するために必要な日用品を準備します。

(3) 障害者生活体験事業 (305千円) 【新規】

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が自立した生活を送れるよう、ウィークリーマンションを活用するなどして生活体験を行う場を創出します。

エ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,777千円(対前年度比 15千円減)】

(1) 健康づくり応援イベント (273千円)

働き・子育て世代の参加を促すため、幼児を対象とした「歯と口の健康週間(フッ化物塗布)」事業を歯科医師会と共催で実施するとともに、あわせて健康に関する情報の展示・体験・相談等を行います。同時に歯科医師会主催の口腔がん検診も実施し、区民が健康について関心を高めるきっかけづくりとします。(6月)



健康づくり応援イベント

(2) 健康情報啓発事業 (597千円)

① パネル展等での情報発信

市民が多数来所する場(中央図書館等)で健康情報パネルを掲示することで、地域住民の身近な場所でも健康情報に触れられるようにします。

また、西区ツイッター・インスタグラム等を利用し時宜にかなった健康情報を配信します。

② 生活困窮世帯の親子歯みがき教室【新規】

生活困窮状態にあるなど、支援を必要とする家庭に育つこどもは、虫歯保有者の割合が非生活困窮世帯に比べて高い傾向がある事から、西区独自の取組みとして生活困窮状態にある世帯の親子を中心に口腔ケアに関する正しい知識の普及啓発を実施し、歯みがき習慣の定着を促進します。

(3) 食育推進事業 (798千円)

3歳児健診の会場を活用して食育情報コーナーを設置し、講話や展示を通じ、はしの持ち方や朝食摂取など親子への食育普及啓発等を実施します。

(4) 保健活動推進員等の活動支援 (109千円)

地域の健康づくりのリーダーである保健活動推進員に測定機器等を貸し出し、活動をサポートします。

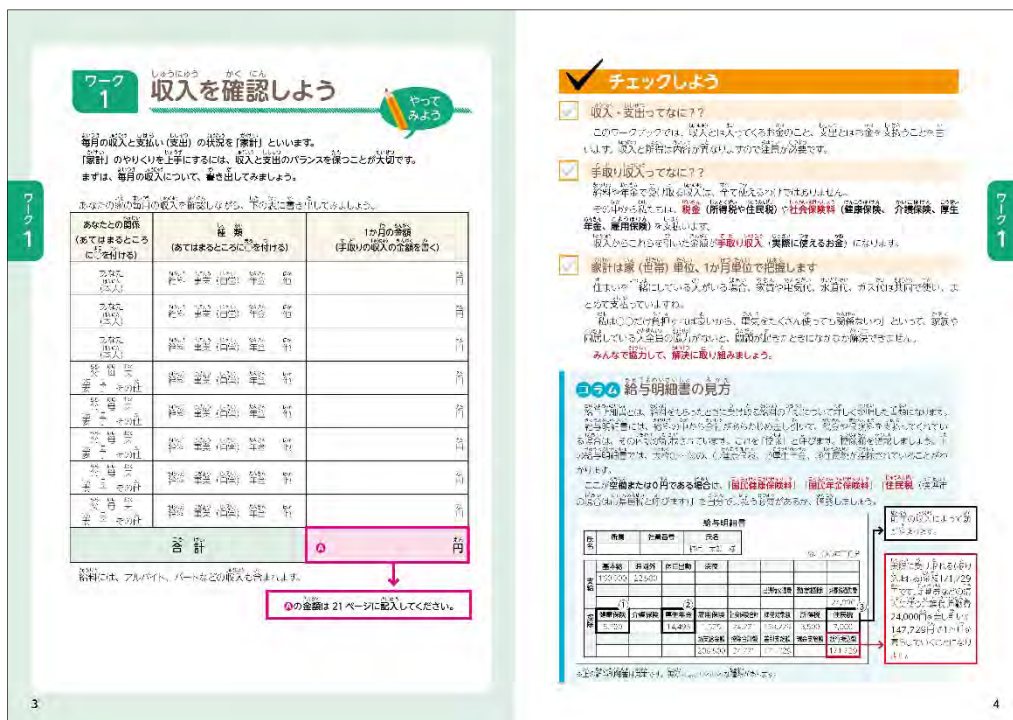
オ 家計のやりくり応援事業

(生活支援課)

【予算額 639千円(対前年度比 34千円増)】

令和元年度に作成し、400部発行した「家計のやりくりワークブック(わたしのミライノート)」について、利用された方の意見を聞くなどして、よりわかりやすいものに改訂のうえ、1,000部発行します。(発行時期:10月予定)

ワークブックは家計改善支援の実施の際に活用するとともに、地域の相談支援機関にも配布し、活用します。



カ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

【予算額 3,659千円(対前年度比 710千円増)】

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を進めるため、区内の地域子育て支援拠点や保育所等の関係施設と連携して事業を実施します。

(1) 西区で子育て学び隊事業 (2,979千円)

① プレパパママ教室 (土曜日開催) 【拡充】

平日開催のプレパパママ教室に参加できない就労妊婦やパートナーが、妊娠による身体の変化や子育てについて学べるよう、土曜開催日を前年度より増やします。(年4回→年5回)



プレパパママ教室

② 中学校いのちの教室

区内市立中学校の3年生を対象に、いのちの大切さについて学ぶ教室を実施します。講話や沐浴体験、地域の母子とのふれあい体験等を通じて、育児や親の想いを知り、いのちについて考える機会とします。(全5校)

③ 子育てガイドの作成【拡充】

これまで作成していた子育て情報誌と子育てマップを統合し、子育ての当事者がより使いやすいガイドを作成します。作成にあたっては、西区子育て支援拠点スマイル・ポートと連携し、内容の充実を図ります。

④ 「保育所等利用案内」の多言語概要版の作成【新規】

保育施設の利用を希望する外国人の増加に対応するため、「保育所等利用案内」の多言語概要版を作成します。(英語・中国語)

(2) 女性と子どものための相談支援強化事業 (680千円)

① 3歳児健康診査時の臨床心理士による個別相談

子どもの発達の特徴に気づいていない保護者に対しても、適切な助言を行えるよう、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談を実施します。(年16回)

② 弁護士等による事例検討・スーパーバイズ

女性や親子の支援に関わる職員が、対応の難しい家庭を適切に支援するため、専門家から助言や事例検討によるスーパーバイズ等を受ける機会を設けます。(随時)

③ 子ども・家庭支援相談事業紹介ちらしの作成及び配付

乳幼児期から学齢期・思春期までの子育ての心配ごとに関する相談窓口を周知します。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

キ 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 4,400千円(前年度同額)】

東京2020オリンピック・パラリンピックやヨコハマトリエンナーレ2020の開催期間に合わせて、東横線廃線跡地等を活用したイベントを実施し、西区全体の賑わいを創出します。

また、京浜急行電鉄株式会社やいすゞ自動車株式会社の本社進出など、企業集積が進むMM21地区の成熟を受け、新たに在勤者の方をターゲットとした情報発信により、西区の魅力を知っていただく機会を創出します。

(1) 大規模イベント等の機会を捉えた回遊性向上 (2,400千円) 【新規】

ヨコハマトリエンナーレ2020やイルミネーション等、来街者が増加する機会を捉えて、MM21地区と既成市街地の接続ポイントを活用したイベント等を実施します。



トリエンナーレ2017



東横線廃線跡地を活用したイベント

■参考 地下鉄高島町駅周辺歩行者環境改善検討事業（都市整備局・区局連携促進事業※）
みなとみらい21地区と既成市街地の交通接続ポイントである地下鉄高島町駅周辺において、安全で快適な歩行者環境整備及び周辺地域の賑わい創出のために現状の調査・分析及び課題整理・解決策の検討を行います。

※区局連携促進事業：区だけでは解決できない地域の課題解決に向け、区と局・統括本部が連携して事業実施に取り組む仕組み。

(2) 区内在勤者をターゲットとした情報発信等 (2,000千円) 【新規】

区内在勤者向けに、西区の魅力発信ツールを紹介するリーフレットの配布や、広報よこはまを活用した情報発信を行います。

また、終業後や余暇の動向及び区内の施設やイベントの認知度等についてアンケート調査を行うことで、今後の施策検討につなげます。



西区魅力発信ツール紹介リーフレット
YOKOHAMA NISHIKU GUIDE

ク 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 4,967千円(対前年度比 312千円減)】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

また、商店街や周辺の地域資源の魅力を発信するため、効果的な広報を実施します。

(1) 商店街連携回遊性向上事業 (4,461千円)

① 商店街を巡るスタンプラリーの開催

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、企業や地域等との連携を図り、広く商店街の魅力発信を行うことで、まちの賑わいを創出します。



スタンプラリー冊子



スタンプラリーステッカー

② ベイバイクでまわる西区サイクルマップ【拡充】

新旧市街地の回遊性向上を目的として発行した「サイクルマップ」について、区内区外の来街者への西区の魅力発信の強化を図ります。



サイクルマップ

■参考：サイクルマップ
発行：平成31年3月（ふるさと西区推進委員会）
発行部数：5,000部
（配布部数：4,300部 令和2年1月現在）
配布場所：西区役所、各施設、区内イベント会場 等

(2) まちの賑わい創出事業（506千円）

① デジタル観光マップを活用した商店街情報発信事業

スマートフォンを使って手軽に検索できる「デジタル観光マップ」を活用し、スタンプラリー参加店舗や商店街振興事業への協力店舗を紹介することで、区内商店街への来街者の増加を図ります。



西区デジタル観光マップ投稿(一部)



スマホ画面表示イメージ

■参考：デジタル観光マップのアクセス数
 配信開始：令和元年8月
 アクセス数（月平均）：日本語版 563件
 英語版 81件

② インスタグラム事業

写真に特化した魅力発信ツールの「インスタグラム」を活用し、イベント情報や区の歴史的資産等をPRすることで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりに繋がります。



西区インスタグラム投稿写真(一部)

■参考（インスタグラム：1月15日現在）
 投稿数：115件
 フォロワー数：685人

ケ スポーツ振興等事業

(地域振興課)

【予算額 4,475千円(対前年度同額)】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、競技種目の体験や地区センター等の身近な施設でスポーツに親しむ機会を提供します。また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせたスポーツ振興 (3,700千円)

① 東京2020大会競技体験会の開催

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機として、競技を実際に体験できるイベントを開催し、機運の醸成を図ります。



西区バドミントン教室



こどもサッカー教室

■参考(地域イベントでのPR)

市民局と連携して、さくらフェスタでのブース出展など東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントを開催します。

② 区内施設と連携したスポーツ振興【新規】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機として、区内各所の施設と連携してオリンピック・パラリンピックの競技種目を身近な場で親しめる機会を提供します。



区内施設が実施したボルダリング教室

③ ハマのウォーキングフェスティバル

区民の健康づくりと西区再発見を目的として、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを開催します。

(2) 区民体育振興事業、区青少年活動推進事業 (775千円)

西区体育協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

コ 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業【新規】

(西土木事務所)

【予算額 2,053千円】

西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区の公園には藤棚が6公園で整備されていますが、春に花をつける時期になっても藤棚全体には広がらず花が乏しい状態となっています。藤棚一面に花を咲かせるため藤棚に関する維持管理の有識者に藤育成に関する講師を委託し、藤棚の再生に取り組みます。

(1) 公園・施設等の緑化推進 (1,553千円) ※移管事業

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

(年2回、30公園)

花苗や球根を購入し、公園愛護会を中心に花苗植え作業を行います。作業を行う際には、地域住民や保育園児、小学生などにも参加を呼びかけ、様々な方が一緒に作業していただくことで地域交流を進める取り組みとします。



公園での花苗植え作業

(2) 藤の花再生プロジェクトの推進 (500千円) 【新規】

① 公園の藤棚による維持管理の試行 (通年)

区内の藤棚がある公園にて、藤棚再生に向け藤棚に関する維持管理の有識者を講師として選定し、年間3回程度必要と言われている剪定作業時にアドバイスを頂きながら維持管理方法の試行を行います。



過去(2008)の浜松町公園の藤棚

② 地域への維持管理手法の共有 (通年)

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ区内にある他の藤棚でも再生につながるように、他の施設などと情報を共有するとともに、この維持管理の試行を協働して実施して、藤棚を通じた地域のにぎわい活性化を目指します。



現在(2019)の浜松町公園の藤棚



藤棚町の由来

サ 西区環境行動推進事業

(区政推進課)

【予算額 2,908千円(対前年度比 1,413千円減)】

横浜市が「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、区民・企業・区の各主体が相互に協働・連携し、総合的に温暖化対策等の環境に配慮した取組を推進していきます。

(1) 区内企業や施設と連携した環境イベントの実施 (1,504千円)

環境に配慮した具体的な行動の実践の拡大を目指し、

- ・ 「にしくライトダウン2020」や区民参加型イベント「にしくecoチャレンジ」などによる、環境配慮行動の周知・啓発
- ・ 次世代を担う子どもたちへの環境学習支援
- ・ 区内における地産地消の啓発イベントなどを実施します。

また、区内企業におけるSDGsに関する取組を、各種イベントの周知や広報媒体を通じてPRしていきます。



にしくecoチャレンジ
リーフレット

(2) 緑のカーテン等の普及 (1,404千円)

区内における緑のカーテンづくりについては、区民向けの栽培講座を開催するなど、個人・団体・企業などより広い主体に参加してもらえよう取組を進めます。



区民向け栽培講座

シ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,319千円(対前年度比 287千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、地域清掃活動の支援や3R行動の推進を行います。

(1) 清潔できれいな街づくりを進める事業 (1,762千円) 【拡充】

① 地域清掃活動支援強化事業 (WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)

東京2020オリンピック・パラリンピック等、大規模イベントの開催により来街者が増加する機会を捉え企業等と連携し、横浜の玄関口である横浜駅周辺の地域清掃活動を一体的な活動として位置付けて支援し、おもてなしの街づくりの気運を高めます。



清掃用具

② 地域清掃推進

自治会・町内会等による地域清掃に対し、清掃用具・消耗品等を支援します。

令和2年度からは、ごみ袋もバイオマスプラスチック混入に変更し、拡大します。

- 参考1：WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 登録団体
41団体(令和2年1月現在)
- 参考2：バイオマスプラスチック
「全国自治体初バイオマスプラスチック90%混入地域清掃ごみ袋」として2018、2019NEW環境展東京ビッグサイトで紹介
- 参考3：地域の清掃活動実績
自治会・町内会清掃活動状況 月平均3回
※2019清掃・美化活動計画集計により



広報よこはま西区版 特集

(2) 3R行動を推進していく事業 (319千円) 【拡充】

プラスチックごみによる環境汚染が世界的に喫緊の課題となっていることから、ワンウェイ(使い捨て)プラスチックの削減啓発として、地域のおまつりや催し物に出店する模擬店出店者へリユース食器の使用を促します。また、食べられる食器(最中食器)も試行します。

- 参考(地域イベントでのPR)
令和元年度では、第44回西区民まつりで「ワンウェイプラスチック削減啓発委託」を実施し、リユース食器及び食器洗浄車を導入しました。



2018NEW環境展

(3) 西区環境行動推進本部の運営 (152千円)

(4) こどもたちの環境学習支援等 (86千円)

資源循環局西事務所と連携した出前講座や企業等との協働による環境学習を小学校等で実施します。



リユース食器と食器洗浄車

ス 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,424千円(対前年度比 134千円増)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を強化します。

(1) 小学校への交通安全教育事業 (200千円)

既存の交通安全教室に加えて、昨年度から実施している保護者向けの講話をさらに充実させるとともに体験型の交通安全教室を全校で展開し、継続的かつ効果的に交通安全対策を進めます。

新入学児童の交通安全教室は、特に早期の実施が求められるため6月末までに全校実施を目指します。



保護者向けの講話



交通安全教室(自転車の乗り方教室)

(2) 交通安全運動推進事業 (976千円)

各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、パネル展や啓発物品の配付等により区民をはじめ、来街者へ交通事故防止を呼びかけます。



秋の全国交通安全運動



年末の交通事故防止運動

(3) スクールゾーンにおける安全対策 (1,248千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付し運営の支援を行うとともに、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を行います。

セ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,011千円(対前年度比 3千円増)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化します。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業 (394千円) 【拡充】

犯罪被害を未然に防ぐため、戸部警察署と連携し、犯罪手口にあわせた防犯啓発チラシの作成・区民への配布、広報よこはまでの注意喚起、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信等を継続的に行います。

また、特殊詐欺対策(だまされた振り作戦)の玄関ステッカーの配布、「地域安全西区民のつどい」の開催、交通安全事業と一体的に取り組むなど、あらゆる機会をとおし、防犯意識の啓発を行い、犯罪被害の抑制を図ります。

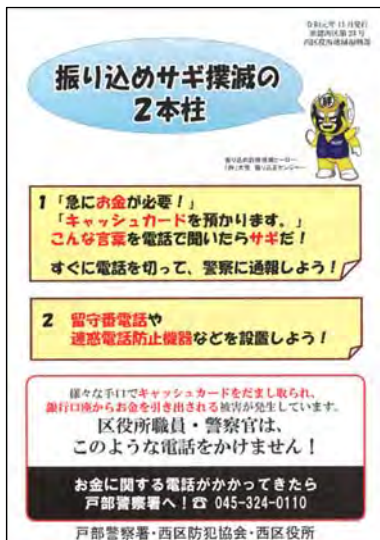
さらに今年度から警察署、西区防犯協会が開催する防犯教室等に協力し、地域の防犯啓発活動を強化します。

(2) 青色パトロールの実施 (1,617千円)

被害件数が増加している特殊詐欺対策のため、戸部警察署及び民間警備会社と連携し、青色(防犯)パトロール活動を行います。

■参考

- ・特殊詐欺被害額等 R01年：約6,700万円(件数：54件) H30年：約1億400万円(件数：32件)
- ・青色パトロール実施回数 週1回程度、年48回(H30年度 16回)



防犯啓発チラシ



特殊詐欺対策
(だまされた振り作戦)
玄関ステッカー

ソ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,773千円(前年度同額)】

(1) 地域防災拠点の機能強化 (1,312千円)

① 地域防災拠点訓練の実施

発災時に各地域防災拠点(以下、「拠点」)が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。(9月及び1～3月、年2回)

② 多様な避難者への対応支援

女性、乳幼児、高齢者や障害者といった要配慮者及びペット同行避難者、外国人などの避難者に対応できるように各拠点の実情に応じた支援を行います。



一本松小学校地域拠点訓練

(2) 区本部の防災機能強化 (5,569千円)

① 河川水位上昇に係る調査の実施

中央大学と共同で実施した帷子川水位上昇に係る調査結果について、実用化に向けて実降雨を用いた精度向上を図ります。調査結果は区本部における避難情報発令、横浜駅西東口協議会や鉄道事業者等と連携した効果的な災害対策に活用していきます。

② 帰宅困難者一時滞在施設の確保

JR横浜タワーやパシフィコ横浜ノースなど大規模施設の開設に合わせて、帰宅困難者一時滞在施設として協定締結を進めます。また、訓練等を通じて、施設関係者と連携強化を図ります。

③ 震災・風水害対策の強化【拡充】

災害時を想定した震災・風水害対策本部のシミュレーション訓練を実施します。

特に令和元年に発生した台風を踏まえ、避難場所の開設、運営、資機材の取り扱い訓練を重点的に実施し、停電対策や避難場所における備蓄品の配備を進めるなど、災害対応力を強化します。

④ 災害医療対策の推進

災害医療連絡会(2月)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

また、医療救護隊巡回訓練(9月)や区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

(3) 自助・共助の推進 (5,892千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を引き続き推進します。課題である感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、広報よこはまや単位町内会への個別説明を行うなど、区民への周知を強化します。さらに、申込における手続の改善なども検討していきます。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考1：感震ブレーカー補助実績
令和元年度：191個（令和2年1月末）
平成30年度：413個 / 平成29年度：689個
■参考2：初期消火器具更新実績
令和元年度：7基（令和2年1月末）
平成30年度：14基 / 平成29年度：7基

② 多言語版防災マップの作成【拡充】

外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう、防災マップを複数言語化し、ホームページ上で提供します。

■参考：対応言語
令和2年度：韓国語、ネパール語、ベトナム語
令和元年度：英語、中国語

③ 幅広い世代や企業を対象とした防災・減災啓発【拡充】

みなとみらい地区での企業立地が進んでいることを踏まえ、新たに住民との協働も見据えた企業向けの防災講演会を開催します。

共助を中心とした防災の重要性が増しているため、新たに高齢者を対象とした啓発冊子を作成します。

また、次世代の防災の担い手となる、小・中学生に向けたセミナーを引き続き実施します。



西区防災講演会

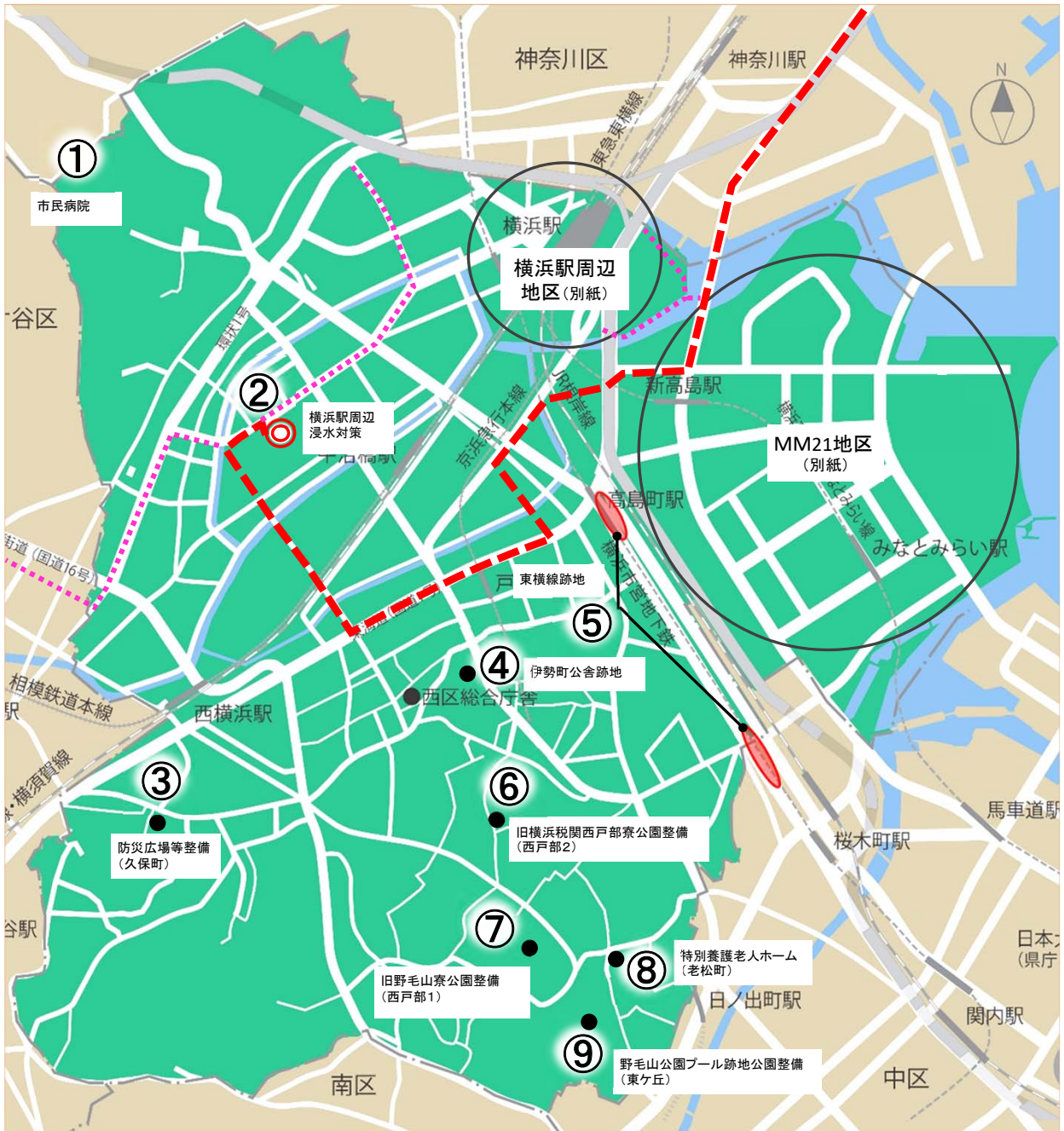
3-(3)-ア 西区における開発動向等について

【区政推進課】

地区	概要
①	<p>市民病院 医療の高度化や医療環境の変化に対応していくため、市民病院再整備事業に取り組み、神奈川区側で診療棟、西区側で管理棟の建設工事が完成しました。</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年1月末 完成予定 令和2(2020)年5月1日 開院予定</p>
②	<p>横浜駅周辺浸水対策 (1) (仮称)神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとしています。現在、令和2年度の工事着手に向けて設計を進めています。</p> <p>【スケジュール】 平成30～令和2年度(2018～2020年度) 詳細設計・関係機関等協議 令和2(2020)年度 工事着手予定 令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 水位周知下水道 地下街周辺等の公共下水道水位の計測を行い、水位や雨量情報等から溢水を予測して、水防活動に活用することを目指した取組を進めます。</p> <p>【スケジュール】 平成30～令和2年度(2018～2020年度) 計測の継続、解析・周知方法の検討 令和2(2020)年度 水位の情報提供開始(予定)</p>
③	<p>久保町防災広場等整備 老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。</p> <p>【施設概要】防災広場等 【スケジュール】 令和元(2019)年度 用地取得、設計作業(広場) 令和2(2020)年度 工事(防火水槽撤去、防災広場・新設道路整備)(予定) 令和3(2021)年度 移管手続(予定)</p>
④	<p>伊勢町公舎跡地 約2haの土地のうち、南側の約4,000㎡については市が県から取得し、隣接する伊勢町もくせい公園の拡張部として整備しました。</p> <p>【スケジュール】 令和元(2019)年度 集合住宅の提供公園との接続階段設置工事 令和2(2020)年度 消防団器具置場設置工事</p>

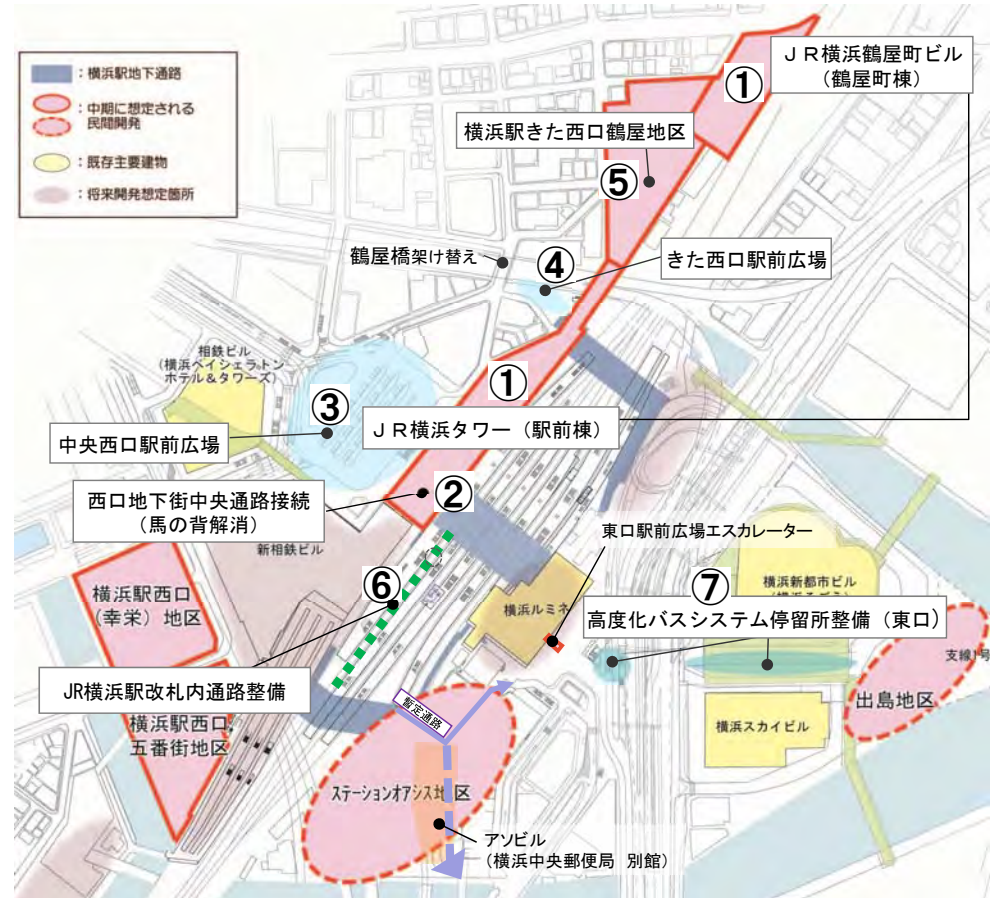
地図	概要
⑤	<p>東横線廃線跡地 桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間が令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始されました。令和元年度には、供用区間の利活用に関する実験イベントを2回（9月24日、12月20日）開催しました。</p> <p>旧高島町駅付近の高架下は平成30年8月から「R16 国道16号線スタジオ」として暫定活用を開始しました。引き続き、アーティスト・クリエイターが創作活動を行っています。</p>
⑥	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 国家公務員宿舎跡地について、環境創造局が土地の取得を進めており、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,500㎡ 【スケジュール】 平成29～令和元(2017～2019)年度 用地取得 令和2(2020)年度以降 建物解体、公園整備工事(予定)</p>
⑦	<p>旧野毛山寮公園整備 当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,700㎡ 【スケジュール】 平成29～令和元(2017～2019)年度 用地取得 令和元(2019)年度 公園設計、道路整備工事 令和2(2020)年度 道路整備工事、公園設計(予定) 令和3(2021)年度以降 公園工事、移管手続(予定)</p>
⑧	<p>老松町国公舎跡地 国の公務員宿舎跡地を活用して、特別養護老人ホームを整備します。公募で決定した事業者が建設工事を進めています。</p> <p>【施設概要】事業者：社会福祉法人 白梅(しらうめ)福祉会 定員：入所90名、ショートステイ10名 【スケジュール】 令和2(2020)年2月 竣工(予定) 令和2(2020)年4月 開所(予定)、入居開始(予定)</p>
⑨	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 野毛山公園プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってききましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として、整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】土地面積 約6,200㎡ 【スケジュール】 平成30～令和元年度(2018～2019年度) 公園計画の検討 令和2(2020)年度以降 所管替え、公園設計、公園整備工事(予定)</p>

西区開発動向分布図



3-(3)-ア 西区における開発動向等について（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口	<p>東日本旅客鉄道㈱により①JR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビルの建設工事が進められ、JR横浜駅改札内において、中央南コンコースと南コンコースを結ぶ新たな⑥地下通路を整備しています。</p> <p>また、(株)相鉄アーバンクリエイツによって②西口地下街中央通路接続事業(通称)馬の背解消が進められ、中央自由通路から西口地下街への接続通路は、12月に新設通路が開通しました。</p> <p>また、神奈川県にはありますが、⑤横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元年10月に建築工事に着手しました。</p>	
横浜駅東口	<p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいことが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。</p>	
①	<p>JR横浜タワー 事業者：東日本旅客鉄道(株)</p> <p>階数・高さ：地上26階、地下3階建て、約135m 用途：商業、業務施設等</p> <p>H27(2015)年 工事着手 R2(2020)年 5月30日開業(予定)</p>	<p>JR横浜鶴屋町ビル 事業者：東日本旅客鉄道(株)</p> <p>階数・高さ：地上9階、約31m 用途：駐車場、子育て支援施設等</p> <p>H30(2018)年 工事着手 R2(2020)年 6月5日開業(予定)</p>
②	<p>西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消) 事業者：(株)相鉄アーバンクリエイツ</p> <p>H30(2018)年3月 接続通路の一部仮開通済み R元(2019)年12月7日 新設通路開通</p>	
③	<p>中央西口駅前広場</p> <p>R元(2019)年7月～R2年6月 第1期工事 R2(2020)年9月～R4年3月 第2期工事 (オリンピック・パラリンピック開催期間中は休工)</p>	
④	<p>きた西口駅前広場</p> <p>R元(2019)年7月～R4年3月 (オリンピック・パラリンピック開催期間中も工事を継続予定)</p>	
⑤	<p>横浜駅きた西口鶴屋町地区(再開発ビル) 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合</p> <p>階数・高さ：地上42階、約180m 用途：住宅、ホテル、商業施設等</p> <p>H29(2017)年度 再開発組合設立 R元(2019)年度 建築工事着手 R6(2024)年度 竣工(予定)</p>	
⑥	<p>JR横浜駅改札内通路整備</p> <p>JR改札内コンコースを結ぶ地下通路及びホームへのエレベーターを設置します。</p> <p>R2(2020)年夏頃 使用開始(予定)</p>	
⑦	<p>高度化バスシステム停留所整備</p> <p>横浜駅東口、山下ふ頭を起終点としたルートにより、水際線沿いの主要な施設を結びます。</p> <p>R元(2019)年度下半期 試走、走行環境整備工事等(横浜駅東口降車バス整備等) R2(2020)年6月頃 運行開始予定</p>	



【全体スケジュール】

- R元(2019)年7月 ③④中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
R元(2019)年度 下半期 ⑦高度化バスシステム 試走、走行環境整備工事等(横浜駅東口降車バス整備等)着手
R元(2019)年10月 ⑤横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
R元(2019)年12月 ②西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
R2(2020)年度 ①JR横浜タワー(5月)、JR横浜鶴屋町ビル(6月)開業
⑦高度化バスシステム運行開始予定(6月頃)
③中央西口駅前広場Ⅰ期工事完了(6月)、中央西口駅前広場Ⅱ期工事着手(9月)
⑥JR横浜駅改札内通路整備(南側のコンコース間通路、ホームへのEV使用開始)(夏頃)
R3(2021)年度 ③④中央西口・きた西口駅前広場整備完了(予定)
R6(2024)年度 ⑤横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工

3-(3)-ア 西区における開発動向等について (みなとみらい21地区)

令和元年12月末時点

<p>赤① 20：みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業</p> <p>㈱横浜グローバルMICEがPFI事業としてMICE施設整備を行います。既存パンフィコとの一体的な運用を目指すため、整備事業とは別に、運営事業者として㈱横浜国際平和会議場と契約を締結し、平成29年5月より施設の予約受付を開始しています。</p> <p>【MICE施設】 施設名称：横浜みなとみらい国際コンベンションセンター (通称) パンフィコ横浜ノース 事業主体：横浜市、株式会社横浜グローバルMICE 規模等/高さ：地上6・地下1階/約36m 敷地/延床面積：約21,000㎡/約47,000㎡ 施設：多目的ホール、会議室等 オープン：令和2年4月24日</p> <p>【ホテル】 施設名称：横浜ベイクォート倶楽部ホテル&リゾートザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜 事業主体：リゾートトラスト株式会社 規模等/高さ：地上14階地下1階/約60m 敷地/延床面積：約9,500㎡/約48,000㎡ 施設：ホテル オープン：令和2年6月17日</p>	<p>赤⑦ 47の一部：(仮称)MM21地区47街区開発計画</p> <p>事業主体：三菱地所株式会社 規模等/高さ：地上15階、地下1階/約81m 敷地/延床面積：約8,700㎡/約37,000㎡ 施設：株式会社コーエーテックモゲームズ本社ホール(「KT Zepp Yokohama」) 東急REIホテル、店舗等 竣工：令和2年1月</p>
<p>赤② 20-臨港パーク：臨港パークデッキ整備事業</p> <p>事業主体：港湾局 規模等：幅員8m、延長約20m 供用開始：令和2年4月予定</p>	<p>赤⑧ 47の一部：村田製作所みなとみらいイノベーションセンター</p> <p>事業主体：株式会社村田製作所 規模等/高さ：地上18階、地下2階、/約100m 敷地/延床面積：約7,400㎡/約65,000㎡ 施設：オフィス、研究所等 竣工：令和2年9月予定</p>
<p>赤③ 50-20：臨港幹線キング軸デッキ整備事業</p> <p>施設名称：キングモール橋(1月27日名称決定) 事業主体：都市整備局、港湾局 規模等：幅員15m(うち歩行者通行部8m)、延長約56m 供用開始：令和2年4月予定</p>	<p>赤⑨ 43：神奈川大学みなとみらいキャンパス</p> <p>事業主体：学校法人神奈川大学 規模等/高さ：地上22階、地下1階/約100m 敷地/延床面積：約7,850㎡/約50,500㎡ 施設：大学、研究施設等 オープン：令和3年4月予定</p>
<p>赤④ 54：横浜グラングレード</p> <p>事業主体：清水建設株式会社 階数/高さ：地上19階/約100m 敷地/延床面積：約13,500㎡/約101,000㎡ 施設：事務所、店舗等 竣工：令和2年2月予定</p>	<p>赤⑩ 44の一部：(仮称)みなとみらい44街区計画</p> <p>事業主体：積水ハウス㈱ 規模等/高さ：地上23階/約100m 敷地/延床面積：約9,600㎡/約64,600㎡ 施設：ホテル 竣工：令和4年1月予定</p>
<p>赤⑤ 58：横浜ゲートタワープロジェクト</p> <p>事業主体：鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社 規模等/高さ：地上21階、地下1階/約110m 敷地/延床面積：約9,300㎡/約84,000㎡ 施設：オフィス、店舗、プラネタリウム等 竣工：令和3年度予定</p>	<p>赤⑪ 38の一部：ぴあアリーナMM</p> <p>事業主体：ぴあ株式会社 規模等/高さ：地上4階、地下1階/約33m 敷地/延床面積：約12,000㎡/約23,000㎡ 施設：アリーナ(収容人数約1万人)他 開業：令和2年4月予定</p>
<p>赤⑥ 55-1：(仮称)LGグローバルR&Dセンター</p> <p>事業主体：LG Electronics Japan株式会社 LG Holdings Japan株式会社 規模等/高さ：地上16階・地下1階/約93m 敷地/延床面積：約4,000㎡/約35,800㎡ 施設：研究所、事務所等 竣工：令和3年11月予定</p>	<p>赤⑫ 38の一部：(仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画</p> <p>神奈川区にある神奈川管理局が移転予定です。神奈川地区の首都高速道路の防災拠点となります。</p> <p>事業主体：首都高速道路株式会社 規模等/高さ：地上10階/約47m 敷地/延床面積：約2,500㎡/約13,500㎡ 施設：オフィス、駐車場 竣工：令和3年3月予定</p> <p>赤⑬ 18：(仮称)みなとみらい歩行者デッキ</p> <p>施設名称：女神橋(1月27日名称決定) 事業主体：港湾局 規模等：幅員6m、延長約75m 供用開始：オリンピック・パラリンピック開催前の令和2年7月予定</p>



<p>青① 60・61の一部：Kアリーナプロジェクト</p> <p>音楽アリーナは収容人数約2万人を予定し、音楽イベントに特化したアリーナとしては世界最大級の施設となる予定です。</p> <p>事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上25階/約100m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約112,100㎡ 施設：音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、展示施設 竣工：令和5年秋予定</p>	<p>青③ 37の一部：(仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画</p> <p>事業主体：合同会社KRF48 規模等/高さ：地上28階、地下1階/高さ約146m 敷地/延床面積：約10,100㎡/約122,000㎡ 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工：令和5年3月予定</p>
<p>青② 53：</p> <p>事業主体：株式会社大林組、ヤマハ株式会社、京浜急行電鉄株式会社、日鉄興和不動産株式会社 規模等/高さ：【WEST棟】地上30階、/153m 【EAST棟】地上15階、/85.5m 敷地/延床面積：約20,620㎡/約182,825㎡ 施設：オフィス、商業施設、にぎわい施設、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和5年11月予定</p>	<p>黄① 62：</p> <p>敷地面積：約22,188㎡ 処分方法：土地売却または定期借地 提案受付：令和元年10月17日 ～令和2年1月31日 事業予定者決定：令和2年4～5月予定 建物用途：文化、商業、業務施設等 (住宅等の居住機能は不可)</p>

3-(3)-イ 新市民病院の開院について

新市民病院は、5月1日(金)の開院に向けて、医療機器等の調達や運用マニュアル策定等の準備を進めているところです。

1 開院スケジュール

- 令和2年4月9日(木) 午前 開院記念式典(終了後、式典参加者向け内覧会を実施)
午後 医療・福祉施設向け内覧会
- 4月10日(金) 市民向け内覧会(区民には班回覧等で周知)
- 4月30日(木)～5月1日(金) 外来休診
- 5月1日(金) 新病院開院(患者移送)**
- 5月7日(木) 外来診療開始

2 交通アクセスについて ※ルートは別紙参照

これまで市民病院(保土ヶ谷区岡沢町)への公共交通アクセスは、主に「三ツ沢上町駅から徒歩」や「横浜駅西口発 市営87系統・202系統のバス乗車」等を御案内しており、多くの病院利用者や職員等に利用されてきました。

新病院ではバスやタクシーが利用できるロータリーを設置することや、バス路線の多い新横浜通りにも近接する一方で、市営地下鉄三ツ沢上町駅地域からは徒歩圏外となることなどの課題に対応するため、これまで交通事業者と協議をまいりました。

(1) 横浜駅西口発「市営87系統 市民病院経由横浜駅西口行」並びに「市営34系統 沢渡循環 横浜駅西口行」のルート変更

- ア 市営87系統の「三ツ沢総合グランド入口」バス停を廃止し、新病院敷地内ロータリー内に新設する「市民病院」を経由します。
- イ 市営34系統の日中の一部の便について、市民病院のロータリーを経由することで、新病院と横浜駅間のアクセス向上が図られます。

(2) 神奈川区方面(三ツ沢上町駅方面)からのアクセス改善について

東神奈川駅西口～東横反町駅前～三ツ沢上町駅～市民病院ルートの新設を予定していません。(関連各署と協議中)

(3) 関連するバス停の名称について

既存の市民病院を含む名称のバス停(市民病院前、市民病院下、市民病院入口)については、交通事業者において現在検討中です。

3 駐車場料金について ※令和元年第4回市会定例会で関係条例改正済み

外来患者(付き添いの方)		お見舞いの方など	
30分まで	無料	30分まで	無料
以降12時間まで	310円	以降2時間まで	310円
		以降20分ごと	200円

※障がい者手帳をお持ちの方は無料

新市民病院乗り入れ系統図【案】

